

報告

出前講座を行いました



会場の様子

◎長野県の水環境の現状と保全

実施日：11月9日（金） 場所：大町合同庁舎講堂

参加者：大北浄化槽協会および大町市浄化槽管理組合 約60名

県内の河川、あるいは湖沼の水質汚濁の状況について概要をお話しました。特に閉鎖性水域である湖沼の水質改善の遅れについて説明しました。その上で、県の特徴ある取り組みである水環境保全総合計画に基づく水環境保全対策を紹介しました。参集者の身近な水環境として象徴的な存在である仁科三湖（青木湖、中綱湖、木崎湖）の水質の現況については、高い関心が寄せられました。

(小澤秀明 kanken-mizu@pref.nagano.lg.jp)

お知らせ 市民による温暖化モニタリング キックオフシンポジウム

桜の開花が早くなるなど、地球温暖化はすでに各地にさまざまな影響をもたらし始めています。このシンポジウムでは、市民参加型モニタリングの先行事例の紹介などを通じて、信州の自然への温暖化の影響を市民の力で監視することの意味や、みんなで楽しくモニタリングを続けるための課題などについて話し合います。参加無料・申込不要で、どなたでもご参加できます。

日時	平成25年3月2日（土）13:00～16:00	
会場	長野市生涯学習センター大学習室1（長野市大字鶴賀問御所町1271-3 TOiGO WEST 4階）	
主催	長野県環境保全研究所	
共催	環境省・法政大学地域研究センター	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●信州・温暖化ウォッチャーズとは ●基調講演「市民による温暖化モニタリング」 増田啓子（龍谷大学経済学部教授） ●パネルディスカッション （パネリスト） 増田啓子 高島千尋（NPO法人生態教育センター） 神山和夫（NPO法人バードリサーチ） 四方圭一郎（飯田市美術博物館） 中曽根久子（日本野鳥の会長野支部） 	
お問い合わせ	自然環境部	TEL 026-239-1031 e-mail kanken-shizen@pref.nagano.lg.jp

編集後記

- 44号をお届けします。
- 本誌は当研究所の活動や、長野県の環境保全及び保健衛生に関する情報をわかりやすく提供することを目的に発行しています。お気づきのことがありましたら、お気軽にご連絡ください。

(編集担当：企画総務部 電話：026-227-0354)

次号の予告

次号は6月に
発行予定です。